

1984年7月号

1984年7月5日発行（毎月1回5日発行）

№.94

# あんふあんて

発行人/ 発行所/あんふあんて出版部  
定価/200円 振替口座/ あんふあんての会 電話/

きいて  
ねえ  
きいて おかあさん  
すずめはね  
チョン、チョンとあるくでしょ。  
でも  
はとはね  
はとは、おおきいでしょう  
だから  
ゆつくり、ゆつくりあるくんだよ。  
ね。  
おかしいでしょう  
おかあさん。  
つぶやき たけはな  
イラスト 今野 (3才)



逐次刊行物  
昭 59.7.18 和  
国立婦人教育会館  
情報図書室



まずは、ここに一通のお便りが届いてますので、それをご紹介して、近所づきあいうんぬんといったところから気軽に話していきましよう。

「今、私は妊娠七ヶ月の妊婦です。住んでいる所は団地で、近所に口うるさい人が多くつい閉じこもりがちで、外へ出るのが億劫になってしまっています。子供は初めてで、今の状態だと近所に親しい人もないので、子供に友達ができるかどうか心配です。近所で友達を見付けるのが一番いい事だとは思いますが、どうしても……なんだか近所の人に束縛されそうで……入っていったら馴染めそうにありません。どうか、良い案があったら教えて戴けないでしょうか。」

茨木市

(二十六才)

G この人は、近所づきあいの煩わしさを思うと、外へ出ていくのも億劫という状態のようです。皆さんどう思いますか。

C 今この人は、人に話しかけるのが、億劫な時期だと思ふのね。話しかけてもらえれば話せるのに、誰か話してくれないかなってそれが本音じゃないかなと思う。煩わしいのもあるかもしれないけど。

D 自分から人に話しかけていけば、返ってくるということもあるし。自分がやっぱり一歩前に出ないと、待つだけじゃあね。

G そうすると、近所づきあいの妊婦や、子供が産まれたりすることで、少し変わってくるということよ。

C 私もそうだったけど、一度閉じこもると出るのもむずかしく、友達に電話するのも億劫になるのよ。

A 子供がいなくて、近所づきあいの人もさほど必要じゃないのね。

A 私は結婚当時、二人暮らしだったのね。鉄筋のこうい箱の中で結構気楽だったけれど、反対に言えば、つき合いが本当に狭めら

れちゃうのね。今日は、八百屋さん、果物屋さん、あと何人かしゃべったかなって感じ。

B 私が前住んでいたマンションには、公園がついて、夏の夕方なんてすごいよね。子供連れの奥さんが、ワァーと集まってきたり、ベチャクチャやってくるの。うちはまだ子供がいなかったから、ちょっと入れないのよね。だから、仲間に入りたくても入れないっていうこともあるわね。それから、そういうところから出るうわさっていろいろ、またすごかった。

C 私は三十世帯のアパートにいたんだけど、回りが皆んな職人さんばかりで、うちが普通のサラリーマンだから生活のリズムが合わない。たまたま、うちの子と四日違いで赤ちゃんを産んだ人がいて、やつと少し親しくなれた。でもあとの人はアパートの一室を借り切った内職を始めたって、やつぱり入っていきける雰囲気ではなかった。

B 子供を通じてなのね。自分の年令とか関係なくて、自分の生んだ子の年令で友達になるっていうか、親しくなるみたいね。

G 昨年の四月に越してきて、近所に同じ位の子供がいなくてすよね。公園には連れてくるのだけ。

F 私は、子供が一才になって、他の子供に興味を示したから、公園でたまたまというのでなく、ある程度定期的に会うような、決まった友達が必要だなと思ったのです。

C 私の場合、下の子を身ごもってからは、腰が痛く立ってなくなり、体がつかないのと暑いのとで億劫になって、公園にも行かなくなり、結局家の中に閉じこもってしまった。でも、たまには外へ連れていかなくてはと幼児教室(私設)へ連れて行ったら、みんなの中に全然入れないの。反抗期と重なったって、下の子がはいだして手がかったりして、こちらの方

ど必要じゃないのね。

B 子供がいなくて「遊びに来てね」なんて言われても話題がないのよ。

D 子供が出来て初めて、不安なことが起きたり、心配なことができたりするし。

G この人も、近所の人に束縛されそうで、と恐れてるのだけ、やはり、いざ何かあった時って、近所の人が頼りになるわよね。

A 今から悩んでると、逆に出行けなくなっちゃうわね。

C 子供が出来たら出来たで、子供の年令が同じ位なら初対面でも、すぐ話出来るしね。自然に友達ができると思う。自然にふるまえばいいと思うわ。

さて、こんどは、なぜみんな共同保育をやっていきたくて思ったのか、話しましょうか。みんなが、あんふあんてに入ってきたきっかけも交えながら。

C 昨年四月に越してきて、近所に同じ位の子供がいなくてすよね。公園には連れてくるのだけ。

F 私は、子供が一才になって、他の子供に興味を示したから、公園でたまたまというのでなく、ある程度定期的に会うような、決まった友達が必要だなと思ったのです。

C 私の場合、下の子を身ごもってからは、腰が痛く立ってなくなり、体がつかないのと暑いのとで億劫になって、公園にも行かなくなり、結局家の中に閉じこもってしまった。でも、たまには外へ連れていかなくてはと幼児教室(私設)へ連れて行ったら、みんなの中に全然入れないの。反抗期と重なったって、下の子がはいだして手がかったりして、こちらの方

D でもそれは、自分の負担にならない限りにおいて、自分の都合のいい時だけ適当なグループに入れてほしいという、実に虫のいい考えの親が多いということじゃない。

D 私のも新しいグループを作るとこんなんだけど、最初の呼びかけは、あんふあんての近辺会員に、片っ端から電話して「やりませんか」と言ったら、電話で「グループが出来たら教えて下さい」という人ばっかりで、ね。こりゃ困ったなと思ったのね。幸い、もう一人一語にやってくれてるっていう人がいたからよかった。

F 私もどつかにいいグループないかなって思っているのが最初だったけど、どろんこKiddの成り立ちの話を聞いて、自分が何もしないで「どつかにいいのいいのいいの」では、やつぱりダメなんだ、ということも思いました。

E 今、どうしてるの?

A ああ、二人から一時間でもいいから離れていたいとか。(笑い)

B 私たちどろんこKiddの共同保育は、初めは公園で親見知りになり、口を聞くようになり、そのうち行ったり来たりが始まって、「じゃあ、やつぱり親も息をきかない?」なんて話になった。最初は「おにぎり持ってきてみんなで食べようか」と親も一語でお弁当会。顔を覚えた時点で始めたから「今日は、お母さん用事でないけど、誰々ちゃんと遊んでね」と交代で外出することができるようになる。スムーズにいくまで一年少しかか

A じゃあ、二才いくつまで、全く外部との友達とのつき合いがなかったの。

E そうですね。だから、一人目の時は、気づかずにこういうことになってしまったけど、二人目が出て初めて子供にあって、いかに友達が大切かっていうのがわかったの。

A 一人目の時は(自分一人でも)どうにかなるから。でも、二人目になると、どうにかしてはなくなる。(笑い)

B やつぱり子供一人の人は、無理をしてよ

E 今、保育園に行つて、親と保育園の両方で協力し合つて、あと学校に行くまで二年だから頑張つて育てようということになってるの。どれが一番いい方法かは話し合つてる段階だけ。

A じゃあ、二才いくつまで、全く外部との友達とのつき合いがなかったの。

E そうですね。だから、一人目の時は、気づかずにこういうことになってしまったけど、二人目が出て初めて子供にあって、いかに友達が大切かっていうのがわかったの。

A 一人目の時は(自分一人でも)どうにかなるから。でも、二人目になると、どうにかしてはなくなる。(笑い)

B やつぱり子供一人の人は、無理をしてよ

E 今、保育園に行つて、親と保育園の両方で協力し合つて、あと学校に行くまで二年だから頑張つて育てようということになってるの。どれが一番いい方法かは話し合つてる段階だけ。

A じゃあ、二才いくつまで、全く外部との友達とのつき合いがなかったの。

E そうですね。だから、一人目の時は、気づかずにこういうことになってしまったけど、二人目が出て初めて子供にあって、いかに友達が大切かっていうのがわかったの。

A 一人目の時は(自分一人でも)どうにかなるから。でも、二人目になると、どうにかしてはなくなる。(笑い)

B やつぱり子供一人の人は、無理をしてよ

E 今、保育園に行つて、親と保育園の両方で協力し合つて、あと学校に行くまで二年だから頑張つて育てようということになってるの。どれが一番いい方法かは話し合つてる段階だけ。

A じゃあ、二才いくつまで、全く外部との友達とのつき合いがなかったの。

E そうですね。だから、一人目の時は、気づかずにこういうことになってしまったけど、二人目が出て初めて子供にあって、いかに友達が大切かっていうのがわかったの。

A 一人目の時は(自分一人でも)どうにかなるから。でも、二人目になると、どうにかしてはなくなる。(笑い)

B やつぱり子供一人の人は、無理をしてよ

E 今、保育園に行つて、親と保育園の両方で協力し合つて、あと学校に行くまで二年だから頑張つて育てようということになってるの。どれが一番いい方法かは話し合つてる段階だけ。

A じゃあ、二才いくつまで、全く外部との友達とのつき合いがなかったの。

## 新会員 いどば

かったのだけど「一つのテーマに向かつて話しあうなんて久しぶり、会社をやめて、家にこもって三年ぶりよ。」と言ったある人の言葉が印象的でした。

## 会議

いつもの新会員訪問シリーズのかわりに新会員の座談会ならぬ井戸端会議。託児はオールドメンバーに任せて思いきり話しました。紙面に全部載せきれな



## グループから グループへ



私達のグループ・ビノキオ  
相模原市

ビノキオも今年で三年目です。母親と子供の密着保育でなく、集団での遊び、親も子供と遊び、又コミュニケーションの場であり、子供と共に成長する親と子の集団保育の実践の場を作りたいと、私はこのグループの呼びかけをしました。

預けあいではなく、必ず親子で週一回参加します。メンバーは一才から五才までの二十二組の親子です。今のところ、あんふあんでの会員は私ひとりです。

活動は、現在公民館を借りています。しかし気候がよくなれば、お弁当持参で、公園での青空保育です。

保育の内容は、母親の三人が組で当番になります。お母さん方の遊びのアイデアは最高です。時には料理講習室で、チャーハン、カレー、焼ソバなどを子供達と一緒に作ります。子供達の生き生きした顔、みんなと一緒に食べる楽しいひとときです。親子共に、週一回を楽しみにしています。グループ結成される方、お役に立てばと思っています。TEL 熊谷へどうぞ。

## 二年目のむすんでひらいて

練馬区

去年の三月に会「むすんでひらいて」をはじめて一年が過ぎ、六名の大人と五名の子供が三年目も引き続いて参加してゆくことになった。しかし、最初の呼びかけと随分とちがう内容の会になったこともあり、このメンバーだけでは会活動に発展は見込めないと、五月半ば、練馬区報に、子どもたちが集団で遊ぶ場をつくらうとの主旨で新人を募った。

出足が遅れたのだけれど、六月現在、大人二十二名、子ども二十三名の四十五名の会員が集まった。会の活動は毎週木曜日に集まりを持ち、月二回は買井区民館の一室で紙工作や粘土などの室内遊び、あとの二回は公園又は体育施設を借りて、のびのび遊ぶといった感じでやっている。その他に月二回、水曜日に高松区民館で六名の親子とむすんでひらいての会員が区民館に費用を持ってもらって集まりをもっている。この集まりも毎週にしたいのである。

会の運営は、月当番として三人がその月に何をやるかを決め、準備したりと月のリーダーとしてガンバッテもらうことになっている。スタイルとしては未熟な幼稚園ふう。当然批判もある。子どもたちが大人の遊びの型を与えないで集団の中で勝手にやらせれば、自然に集団遊びができてくるという意見である。私自身、さあ集って、紙芝居よ、手遊びよと言いつつ、なんで大人が遊びまで子どもに指導しなければならぬのかしら。自分だっておゆうぎなんて大嫌いだったじゃないかと思つてみたりしているのだ。けれどこの一年

## 若い母親のための

### 子育て講座

#### パートⅡ・報告

だんだんおもしろくなってきたゾ

府中市

いきなり企画から進行係までまかされてあたふたと始めた講座も、どうにか無事二回目を終了。今回は、前回の資料を配りグループ報告を短かくおさえたかいて、かなり活発な話し合いができた。

まず感じたのは、参加者がみんな積極的だということ。雨の中を子連れで来てくれただけなく、すでに何らかの形で子育ての仲間集めを始めている人が何人もいたのだ。友人にポスターを作ってもらって貼り出すという人もいて心強い。かきり。もつとも、声をかけなくても「なぜグループまで作ってやらなければならぬの？」と言われてしまった例もありグループ活動への道のりはけわしいが。

活動の妨げになる要因としてあがったのは地域性。核家族の多い新しい土地では子どもの友だちには不自由しないため、母親自身が本音で話せる仲間を求めるケースが多いが、古い土地柄の所では子どもが少ないうえ、自分の赤ん坊時代からの知り合いばかりで身動きがとれないという悩みがあるようだ。交通の不便さも無視できない。しかし今回、自分の地域についての悩みをうちあけた人の前の席に偶然同じ地域から来た人が座っていて、早速お友だちになるという一幕もあり、講座

## 参加も無駄ではなかった?

前々から言われていた「三十代ばかりが頭張って二十代は消極的」ということについては、「二十代の人にはまだ自分が何をやりたいかわかっていないのではないか」、「あんふあんで創立当時とちがい幼児サークルや保育室が沢山あつてどれでも選べるため、自分でも仲間を集める必要がない」といった今の社会状況も影響しているようだ。などいろいろ意見が出たが、結局は年代の差というよりは個人の意識の差ではないかということになった。そして、二十代でも三十代でも、意見の違う人ともどこか話し合い理解しあつていくという姿勢の人は、どんな活動でも長続きしているようだ。

講座参加者を見てみると三年前の自分を思い出す。近所の人ともうちとけられず自分一人で子育てをしようとしていた私が、はじめに自分の悩みを打ち明けたのがあんふあんで以来、少しずつ自分のまわりの垣根をとりはぎ、人と話ができるようになってきた。勿論始めは「あんふあんで」という共通項を持つ人ばかりだったが、最近では違った考えを持つ人たちが一緒にやっつけていこうという気になつてきた。そして改めて、自分の住む地域に根をおろすことの大切さを感じている。

だんだんおもしろくなってきた子育て講座。他のグループの人たちとも直接会えるし、私個人としては矢野さん・鈴木さんの世田谷コンビの話がとて参考になる。他のグループの例がすぐ自分にあてはまるわけではないが、講座参加をきっかけに、まず自分の殻から抜け出すことを試みてほしい。

## はじめの一步

新宿区

子供の輪を広げようと言う共通の目的の下に、母親達が様々な思いを抱いて「子育て講座」に集まってきた。座「に集まってきた」というのが第一印象です。私も、この会に参加したいと思つたのは、二才の息子の生活環境をなんとか良くしてあげたいと言う気持ちからでした。

新宿歌舞伎町の裏という場所柄が、子供の集まる公園には、朝から酒の臭いとごきげんで千鳥足の人々に、プランコやシーソーを占領されてしまつています。子供に罪は無いもので、母親ばかりがハラハラもつと母親同志が力を合わせれば心強いのにと思つていました。そこで「あんふあんで」にしませんか、と声をかけてみるのですが、共同保育という言葉の為か、二の足を踏む人が多いようです。

今回の講座では、現在の活動内容ばかりでなく、各グループ発足当時の苦労話(人集めや活動場所)を聞いた事が私にとって収穫でした。そして、参加していた他の方々の悩みや各地域での生活環境のお話も、大変参考になりました。私には先筆の様な悩みがありましたが、他ではそれぞれ違った問題があるのだなと、同志の様な心強さを感じて帰ってきました。

あの会から約一ヵ月。近くの会員の方から新しいグループを作ってみないかとの誘いに迷わずO・K。今仲間を探している所です。まだ、ほんの第一歩です。

## 連絡先

7月、4・18日 買井地区民館会議室  
12日 旭南町地区民館ブルー



あんふあんて  
から  
あんふあんてへ



離婚を考える前に  
中野区

二才と十一カ月の二人の子育てにあげられる専業主婦—というのにおおがましいのですが、ふたり目出産後はまさに戦争。育児ノイローゼ一歩手前の日々の中で、子育ては自分ひとりでは、やりきれないと思うことしきり。それまで主婦を軽く考えていたけど、子供と向き合っていくのは、かなりハードだったのです。このしんどさの反面、子供から多くのことを学びつつあるのですが、昔は、「親はなくても子は育つ」と言っていたけど、現代のように情報過剰で、複雑化した社会では、子育てについて、もう一度問い直す必要がでてきていると思う。長い間、能力の有無、既成の観念にふりまわされ、劣等感にさいなまれてきた私としては、子供には真の自立へ權威とか社会通念にとらわれず、自分の生を生きしかも人と手をつないでいけることを考えるのですが、—をめざしてはいいと切実に思っていたのに、追いまくられる生活に、子供とゆったり向きあうことより、家事をこなさなくてはと、妙な主婦意識が頭をもたげてイラ

イラし子供にとつて横暴な母になる。でも、自分の時間をもてず孤立した所にいたら無理からぬと、弁解したいです。ここでつれあいの存在が大きくなるのです。男は養うという役割をたてに、子供やつれあいに目を向けることを怠っているのでは？せつかく出逢って親となった男と女、もう少し語り合い、共感し合う時をもち、一諸に子育てしたい。もちろん男のいる場合もシビアだけど、父であることは忘れてはくれない。子供は、父母をモデルに成長していくのだから、夫婦がいい関係でそれが生き生きと生きていけると、生きていく楽しさ、大切さを伝えられない。明らかに悪影響がある場合は別として、片親で生活していくことの大変さを考えたい。そのエネルギーを、男と女の出逢いに向けては。それが主體的に関わるなら、相手の痛みもわかろうとするし、過剰な要求もしないで、協力していきけるのでは。人は共存していかざるを得ないことは忘れてはいけない。そして、弱者である子供は、守らなくては。「子はかすがい」私はそう思う。別れることになる前に、もう一度考えてみたい。

「事故責任」を考える その1  
豊島区

先日、友人から電話がかかってきた。話の内容は、彼女の子供（小三の女子）が、学童保育で頭を強く打って、一日入院をしたとの事だった。

屋上でドッチボールをしていた、ボールをとろうとして、コンクリートに頭をぶつけた。指導員の人は、そこに立ち合っただけで、子供たちが呼んできたが、特に何もなかった。彼女の場合は二重保育で、お迎えの人は別の日に頼んでいる。指導員の人は、お迎えの人に「今日、頭を打ったので気持ち悪くなるかもしれない。」と報告した。

その後、お迎えの自宅にいたが、顔色が青くなり二度吐いたが、救急車を呼び、その夜緊急室で過ごし、翌昼頃、退院した。脳波は後日とるとして、今のところ、元気だそうだが、彼女の怒りを私なりに整理してみると、頭を強く打ったにもかかわらず、すぐ病院へ連れて行かなかった。親の方に連絡がなかったの二点に集中しているようだった。

しかし具体的に言えばこの二点となるが、それは多分に感情的な方向からきているようだ。たとえば「親の方に連絡がなかった」というのは、遅くなる予定があった上に、家の方にもお迎えの方にも電話したが連絡がとれず、やっと連絡がとれたら、入院。と知った時のショック。もし、すぐ連絡してくれてれば予定をとりやめたのにと、考えたくもなるし。

また、病院から、指導員の人に電話をしたら「親が見ていても怪我は起こる。どこでも

たんこぶ位で病院へは連れてゆかない。お迎えの人に連絡したのだから、こちらに落度はない」と言ったそう。単なる言い訳だったのかもしれないが、病院で不安な想いをして

いる彼女には冷たい返事だったのだろう。私は、基本的には、預けた時に起こった事故に対して、責任を問うという型は、おかしいと考えている。

しかし、感情的にこじれた場合、何が問題で、どういう風に接点を見つけてゆけばよいか判断をしかねて、以前、私の子供がお世話になった学童の指導員の人に電話をしてみた。

その人が言うには、屋上でドッチボールの危険性をあげて、「屋上という危険な場所ドッチボールという危険な遊びをする時は、指導員はついていなければいけないだろうから、監督不行届き、ということでは言えるだろう。」という。

「親が付いていても事故はおきるのだから」ということは、留守家庭児を預かっている以上、言えない。」

私は驚いた。娘がいた頃は、上へ下へ（二階なので）公園へと走りまわっていた、ドッチボールのボールが恐いと逃げてた娘が、いつの間にかとれるようになり、自慢していた学童で、安全性などからは程遠いと思っていた学童の先生だったからだ。

事後処理が悪かったのではないかと考えていた私には、小学生にもなって、安全性の為に大人が付いて遊ばなければいけないなんて納得できなかった。

ふと、プレイパークではどうしているのだろうか、矢野さんに電話をしてみた。（続く）

お手紙ください

二月から会員になりました。私とあんふあんととの出会いはまさに衝撃的。これだ、これだと思いました。長い間探し求めていたものにめぐり会った感じが。

仕事の関係で出張が多く、月に一、二回帰宅。ひどい時は一年近くも家に帰って来ない男と結婚して七年。六歳と二歳の子も一人で育てて来ました。特に二男出産直後は手伝ってくれる人もなく、当時三歳九ヶ月の長男をしっかりとばしながら手伝わせ、私の健康を少しづつづつ育てたようなものでした。

今年の冬には、とことんまいってしまつて、親子で何度も風邪を引き、洗面器を横に置きもしながらおしめをとりかえる日もありました。実家はあつても頼れる状態ではなく、近所とは折り合いが悪く、主人に電話しても、すぐには帰れない。二、三日たつて都合をつけて。などという返事に、仕事、仕事って何だ！と腹をたて、私の三十数年の人生でこんなに辛い事があつたらうかと落ち込みました。案になりた。ただ、全てを忘れて案になりた。と思い、寝ている子供の顔を見つめ、部屋を見直し、ヒモをかけられる所を捜しました。ただひとつ歯止めになった事は、二男が言葉が遅く、二歳になつても単語もろくにしゃべれなかつた事で、この子も産まれて来たからには「おかあさん」と言いたいだろうな、と思つたことでした。

そんな折、読売新聞であんふあんの事を知り、同じ町の会員と友人になり、二人で公報で母親達に呼びかけ、共同保育らしきものを始めるようになりました。

私の生活は一転しました。本来の明るさをとり戻せたようです。一番びっくりして、とまどっているのは主人だと思えます。私が毎日のように電話で、手紙で、愚痴と文句を言いつづけてきたのに、それをバツとやめてしまったからです。主人は夫ではあつても、父親にはなりきれない。完璧な父親を求めるのは無理なのだ。子供の運動会より参観日より仕事なのだ。仕事好きのモータリッ社員でもないくせに、仕事を断る事の出来ない悲しいサラリーマンなのだ。そう悟つたのです。七年目でやつと。

私のものろの不満はここにあり、と華母子家庭として覚悟を決めてやつて行く決心をしました。あんふあんで読み、いろいろな人のことを知り、自分が何と甘い人間だったかと反省もしました。我家の二人の男の子と父親との関係をどう保つていくか。これが一番大きな問題です。全国の単身赴任などの留守家庭の皆様お友達にならましよう。お手紙下さい。





あんふあんて

から



あんふあんへ

あんふあんて入会から現在・これから

中野区

只今、サラリーマンの良き夫、小学三年と幼稚園の年少組に入った二人の娘と私の四人だが、上の娘が二才頃だったと思うのだが、NHKの奥さんご一緒にという番組を見ていたら、そこに「あんふあんて」発行人の幾代さんが出られて、「あんふあんて」のことを話していたのを聞いて（内容はよく覚えていないが、子を持つ女が助けあつて育児のみならず、自分自身も何かをしていかなければいけないようなこと）「これだ」と思い、早速、入会手続きをとった。私も丁度同じようなことを考えていたので、その言葉に勇気づけられ行動に移した。皆さん笑わないで下さい。その行動とは、私は編物をする女の姿に憧れていたのである。子供の頃、絵も書道も手芸も編物も好きでよくやつたものである。まず初めに地域の編物サークルに入り楽しくスタットしたのだが、子供を預け合うことをせず、二才の娘を連れて教室へ通った。編物の用具の他に、絵本、おもちゃ、菓子等をもつて。それから花が好きなので、華道も習いにかけた。やはり二才の娘を連れて。でも今思い返すと娘にかわいそうなことをした。双方とも先生も生徒も良い人達ばかりであつた

「くれない族」よ、サラバ！

中野区

自他共に認めるテレビ人間の私だが、最近歌番組はほとんど見ない。十五、六歳の若い子が歌う歌にはついていけなくなつた。何しろ歌詞が全然聞きとれない。（ああ、年かな）それにジュリーや郷ひろみが全然出ないんだもん。それで何を見ているかというと、もっぱら女のドラマです。

アル中の妻も覚醒剤におぼれた妻も見ただれど、仕事人間の男が最後には妻を助け、共に歩もうとする所へ一気に行つてしまうので、どうして簡単にそうなるのか釈然としない。（二時間ドラマでは無理かな）企業にとりこまれた男たちの変化を見たのであつて、美しい女優がいかにリアルに汚れ役をやるのかを見たわけじゃない。「思秋期の妻たち」を読んだせいかな、男の描き方がどうも甘くてもの足りなかつた。最近の、自立しようとする女のドラマに出てくる女優はいしだあゆみ小川知子、大原麗子の三人という感じ。今までのドラマは、やけにファッションナブルな職業ばかりで、キャリアウーマンを意識した作りで、こんな事実にあるか！という感じだつたけど、最近の「くれない族の反乱」というのは、地道なドラマだつたと思う。

大原麗子の主婦がローン返済のため、デパートの食品売り場といういかにもパート的な働き場所を見つけてくるのだが、職安のシーンや、立ちっ放しのため夕方帰る時に足が痛くて歩けなくなるシーンはいかにもありそうで、フンフンかなかな、と思うのだが、急に職場の上司である田村正和が出てきて、二人

が、子供は我が子だけだったので。うるさくしないように、邪魔にならないように、部屋を汚さないように、挨拶ができるように等、楽しい習い事であつたが、編物は娘が幼稚園に入るのを機会に、華道は二人目の子のつわりの時期にやめた。（華道は私が時間的に精神的に余裕ができたから始めるかも）そして子連れで習い事をするのは止めることにした。相変わらず、花は好きなので主人の休みの日にけい古のある押し花絵というのに転向し（子供を主人に預けて）それは今も続けています。これは花を原色押し花にし、それらを色紙にデザインして貼りつけ、変色止めの処置をして額に入れられるようにしたものである。これらの間に自宅の横に家作も建てた。よその人より早く起き、朝早くから働いた。誰れにも頼ることなく、子供と一緒に職人さんにお茶を出し、お茶菓子を買いに走り、その間をぬって子供が具合が悪い時には医者に走り、家事も育児もイライラする程やつた。現在は家作の管理として主人から手当をもらっている。そんな中で、井草のあんふあんてのグループに入れたもらい、読書会を通して言いたいことを言つた。これは楽しかつた。もう少し、子を預け合うことがうまくできていたら、子ども大人ももっと楽しく過ごせていたのではと今になって思う。

あんふあんてとは、フランス語で出産、創り出す等の意味があるが、幸いにも上の娘も順調に育っているし、下の娘も幼稚園の年少組に入つた今、細く長く押し花絵を続けながら次に何を「あんふあんて」しようかと思つているこの頃である。

並ぶと、どうもただの主婦ではなくなるんですよ。妻の浮気と、夫の浮気が同時進行して、相手が田村正和夫婦となると、ウッソ！という心境だが、まあそこはドラマ、おさえて、おさえて。

さて大原麗子が働き出すと、途端にいろいろな問題がおきてくる。子供、姑、夫、みんなぎくしゃくとした関係になって、離婚まで考え、子供は必死の仮病で親をつなぎとめようとする。今まで家にいた主婦が働き出すという事で、そんなに多くの問題が出てくるのだらうか。だとすれば、その家庭は妻が今までおさえて自己主張しない所で、私さえ耐えていればという所で成り立っていた家庭なのではあるまいか。そうして家に閉じこもつて、夫に対して「〇〇してくれない」と不平不満をもつ妻が「くれない族の反乱」の視聴率をあげていったのかもしれない。（私もその一人とは、情ない。）

雑感

中野区

編集者の雑談の中で「働きたいと思つていない人はいないか」「はい」と手を上げたのが私「では、そんな気持ちを持てないでいるなら三才七ヵ月と一才七ヵ月の子供がいる私がなぜ働いてみようか」との頃思つてはいるかという、子供達を公園に連れて行つても上の子と同年令の子供がいないこと、もつと同性で同年令の子供達と遊ばせてあげたい。それじゃ幼稚園でもと思うのだけれども下の子も一緒にというわけにもいきません。四才近くなると親とべつたりというよりも大勢の友達と遊んだ方が学ぶことが多いのではないかと思う。それに私自身の中にも四年近く家の中にこもつていると、外に出て働きたいという気持ちがあります。

グループ紹介

〇あんふあんて大宮グループ  
元気で毎日、生活していますか。あんふあんて大宮グループへのお誘いをさせて戴きます。子連れの親子、又は子供が大きくなり大人だけの集まりです。保育は専任の保育士一名と、会員二、三名が交替で当番にあたっています。今年は身近な人を講師に招き、話し合いを拡げる計画で、「さくらんぼ坊や」の映画会も計画しています。

場所は大宮公民館（大宮駅西口歩いて二三分位です）で他市の方もおります。で火曜日の午前十時から十二時まで活動しています。詳しいことは

水野 宮  
加倉井 宮

又は  
まで





## 映画コーナー

根岸悦子編者  
太郎次郎社刊

「からだを知り、自分を知る——千四百円」  
わが息子が、赤ちゃんどこから生まれてくるのか、「お母さんは、お父さんとキスしたことがあるの?」とか、食事中に唐突に聞いてきたりしてギョッ、としていたら、ダメ押しという感じでキツイ質問。「僕は一人っ子だから、もつと兄弟が欲しい。どうやったら子どもができるの?、つくれるの? 早くつくつてよ」どうやったらつくれるのかと突然言われても、精子と卵子がウニヤムニヤでもないし、愛しあつてからできるというものでもないし、あせつてしまったのです。幼児期には、絵本の「ぼくどこからきたの」を機会あるごとに見せてたので、それなりに理解してるのではと、私自身勝手に理解してたんだけど。あせつた時に見つけたこの本、子どもにというよりも私自身が本当に勉強になつたという感じ。

一性の学習は、生きるということ、なかんずく、いのちの誕生ということと本質的にかかわった地点で展開したい」といのちを歴史的にとらえる学習から始まって、性教育へといく六年生対象の授業内容が、教師と生徒のやりとりで実にわかりやすく書かれています。

これら六年生対象、中学校特殊学級、盲学校での性教育の実践が、誌上授業という形で進められています。

驚きだつたのは、盲学校の生徒は男・女それぞれ自分の性器はわかるが、相手のは見えないので、生殖器の模型にさわった時、女性にはベニスが何かわからず、ベニスが男女を見分ける手がかりにさえならないというのです。当たり前といえそうですが、こんな事にまで思いも及ばなかつたのです。

私の知りあいの母親が、中二の娘とテレビを見ていたら、ラブホテルの音声付きの回転ベットのシーンに、娘が「あれ何？」と聞くので「おぼけ屋敷じゃない」と答えたというのです。私が「中二なんだし、ちゃんと答えなければダメじゃない。いずれお母さんが、嘘ついたとわかる時がくるのだし」と言うと同じ年で、出入りしてる子もいるというほどなのね。でも小四の娘も一緒にいたし」と言うのです。性に関しての返答は、むづかしい事やごまかしを言つてもダメだし、嘘をついても見破られるし、とにかく親としては発達段階に応じて正確に答えないものだ、これを聞いて思つたのです。だけど自分自身が性に対して閉ざされてたら、返事に窮してしまうのではないでしょうかね。

この本のあとがきで、編者が言つてます。「まず、大人が、自分の生き方や性を考えてみることに、そして、自分と向きあつてみることに。そして、子どもに向かつて、ホンネで自分の「生」を語つてやる。それがなにより性の教育となるのではないだろうか」と。

要するに、人間の性は生き方と切り離せない問題で、性教育とは、自分がどう生き、どう生きようとしているのかを問われているんですね。アーしんどいことだ。(砂田)

映画コーナー

三スター・マム

杉並区

話題作「ミスター・マム」を観た。この映画、好評を博して上映延長になったそうナ。一口に言つて、面白かつた。まず、住んでるおうちが私の趣味だし、子供もかわいい。子供部屋、お台所、ベビー用品など、主婦として参考にしたものの、羨ましいもの沢山。その上、五年前の「クレイマー、クレイマー」に比べると、ぐっと肩の力が抜けた感じで。そうかアメリカ女性はやはりすずんでるな、あの時の「居たたまれなくなつて飛び出す」という段階を既に克服して、ベティ・フリーダン言うところの「第二期」、つまり、生き方の選択肢が広がり、も早女性が自分自身のためにきばる必要がなくなつて、家族のことを考えるゆとりが出てきた、より人間らしく生きられる様になつてきたということか。だから、ミスター・マムが何を言わんとしてるかというと、男性も自己の人間性をもっと豊かに表現せよ（フリーダン）ということだな。アメリカ社会のダイナミズム、柔軟性つて、本当に羨ましい限りだ、などと、実にハッピーな気分で帰つてきた。

しかし、落ち着いてパンフレットを読んでもると、某映画評論家氏曰く、「男はやはり会社へ出勤し、女は家庭に戻るのが一番いい」という、平凡だけど率直な結論に、この映画は到着するのだ。ムム、これはなんだ。と、シ

-11-

☆新宿へ行ったら、ついでにマジメな刺激に出合ってみませんか、——ミニコミ書店『模索舎』はまだまだ健在ですよ——

☆子連れで絵本美術館は、いかが？

ちひろ絵本美術館に行ってきました。みなさんもちひろさんの絵は知っていると思います。ごく普通の住宅の一角で、彼女の絵と建物との調和がとれて、ステキでした。

特に「赤ちゃんギャラリー」が気に入りました。もちろん小さな子を連れていける様な細かな配慮があつて、サークルベット有り。なんとひとつも自分が効なかつた日を想い出す様な優しい気持ちになれたんです。

7月8日までは絵本「ひさの星」「たけくらべ」原画展。

7月11日から9月2日まで「いわさきちひろの歩み展」がおこなわれているそうです。  
西武新宿線上井草駅下車、月曜休館。連絡先  
03(995)0612 いわさきちひろ絵

☆南伊豆で遊びましょう

海のそばの山の上の小屋で気分転換はいいが。参加者の好み、こどもの年令によつて遊び方はいろいろ。キャンプ生活よりちよつとまじな自然ですけれど楽しいよ。

南伊豆町子浦（下田からバスで1時間）  
宿泊無料、交通費、食費等実費のみ  
詳しくは 大山まで



〈月曜定休日〉  
営業時間11時～19時  
東京都新宿区新大塚2-4-9  
TEL 03-352-3553

☆新宿へ行ったら、ついでにマジメな刺激に出合ってみませんか、——ミニコミ書店「模索舎」はまだまだ健在ですよ——

よくよく見ると名前からして正直だね。でも四疊半……の裁判なんかのイメージが強く、コワイところって思ってる人もいるかもしれないけど、要するに、普通のちよつと暗めの古本屋さんっていう感じ。ミニコミっていうのを一つのカウンターカルチャー（体制に対する『対抗文化』）っていう意味だけど、あなた知ってた？と認めて、そのつながりのための場であるわけ。もちろんあんふあんのでも置いてます。でも、いわゆる政治っぽいものが多いのは、とても残念で、暮らしたとか女のミニコミが少ないとは思えないのに、ここには少ないのはどうしてでしょうか。そんな数少ない、私の興味がもてそうなものの中から少々。宇宙はてない社「てんごくのおきやくさま——ほうしゃのうをあげて天使になつたこともたち」、ウイ書房「学校はよみがえり得るか」、グループばおうBAOO「女が変わるとき文化が変わる——女、女、女、カーニバル81」優生保護法改悪を阻止する学生の会「女のからだ——避妊を考える」。

ラケ始めたところへ、女友達から電話。彼女曰く「結局、あれがなぜ面白いかというところ、あるべき姿とは違うからなのよね」。そうか？つまり、この映画がコメディイとして成り立つためには、観客が、この評論家氏と同じ意識をもつてることが必要になる訳だ。で、実際ウケてる訳だから。(アメリカでの反響はよくは知らないが)恐らく大方の人は、意識するしないにかかわらず、まだ「男は外、女は家」に心の安らぎを覚えるということになる。私自身についても、それがいえるのかもしてない。自分がそれを望むかどうかは、別として。やはり、性別役割分担の構図は、根強く人の頭にこびりついているに違いない。

この映画が「逆もどり」現象を表わしているとは思いたくないが「第二期」を期待するのは、ちょっと楽観的すぎたかな。

それにしても、人間つていかに、既成観念や慣習に囚われていることか。女性解放、男性解放、というより人間解放、必要ですね。

●新宿土曜あんふあんととはナンダ？  
 曜日と場所が決つてれば、なんとなくたまり場になって、何かやろうよとなるんじやないかというイージーな発想で、メンバーを固定せず、午後と夜、働いてる人も子連れもテキストな時間に遊びにくる「場」を計画中、その準備会です。何かやりたい人どーぞ。  
 7月14日(土)3時〜 幾代宅(「神楽坂」3分)呼びかけ人は古知TEL



## 事務局から

●今月号には来期アンケートを同封しました。今後のあんふあんで考える大事なアンケートです。まず入っているか確かめて下さいね。確かめたらすぐ記入と返送をよろしく。  
●横浜市の翔の会は解散、メンバーは今後婦人学級への参加、新しいグループ作りへと動いています。  
●発送は、その月の第一金曜日にこなっています。このところ発送の人手が足りません。子連れでもかまいませんから手伝える方は電話で連絡してからきて下さい。

## スケジュールメモ

7月14日(土)新宿土曜あんふあんで準備会  
7月15日(日)出産アンケート会議  
7月27日(金)29日(日)伊豆下田ツアー  
8月11日(土)13日(月)出産アンケート  
8月6日(月)18日(土)事務局夏休み  
●八月号のグループ編集は、大田区近辺です。興味のある方、原稿を送って下さる方は、連絡して下さい。連絡先は、  
「さんです。」

## スタッフから

●五月に入会したばかりで早速編集会議に首をつっこみましたが、やる気ばかりで実力が伴わず、ご迷惑をおかけしました。でもいろいろ勉強になりました。(大籠)  
●カッターを頼まれ、野菜を片手に悪戦苦闘、大き過ぎたり小さ過ぎたり、出来ばえはいかに。(今野)  
●西武新宿線井荻駅周辺の方、新しいグループを作りませんか。連絡ください。(坂本)  
●初めての原稿書きで緊張しました。座談会では、二十代のお母さん方の話を聞いて、自分はまだ若いのだと実感。(竹花)  
●最近、やたらに忙しくて、一日中家にいるのは珍しい事になった。でも、出歩くたびに金はでる一方で、そこがづらい。なんとかしたい。(三谷)  
●文章を書いたのは何年ぶりか。しんどかったけどナカナカ、言いたいこと言うのも、心身共にリフレッシュしていい。読む人から、作る人になれてホント、よかった。これから、もっと行動派になろうかな。(川畑)  
●杉並、中野グループは、一月と六月の編集で、一月は大雪で話し合いが中止となったり六月は梅雨で、会員が集まらなかったりと、どうも天気は左右されるようで、雨女がいっぱいいるのかしらねえ。次回の編集は、天気を祈って……  
篠さん、谷川さん、醍醐さん、御苦勞様、次回もよろしく。(砂田)

★入会申込みは切手四百円分同封し、住所・氏名・電話番号・郵便番号を記入。宛名は表紙上段に記載。  
★参加費は一ヶ月四百円。なるべく六ヶ月以上まとめて郵便局で。振替口座は表紙上段に。特に未納の方は至急払い込みを！休会、退会も必ず連絡を。  
★事務局の電話受付は原則として月々金曜の二、四時です。御協力を。